

# 「みどりの食料システム戦略」 技術カタログ (Ver.6.0)

環境負荷低減に役立つ  
478の農業技術を紹介！

農林水産省では「みどりの食料システム戦略」の実現に貢献する技術をとりとまとめて公表しています。

最新版の「Ver.6.0」では、技術の進展と新規取組を反映し、23件の「現在普及可能な技術」及び16件の「みどりの食料システム法の認定を受けた基盤確立事業」を追加し、既掲載情報も内容を更新しました。

みどりの食料システム戦略の実現に向けた各種取組にご活用下さい。

## カタログの概要

現在普及可能な技術 (令和7年3月時点) 294件  
2030年までに利用可能な技術 59件  
みどりの食料システム法の  
認定を受けた基盤確立事業 86件  
Ver.6.0で追加 +

現在普及可能な技術 23件  
みどりの食料システム法の  
認定を受けた基盤確立事業 16件

合計 478件

掲載作目：水稲、畑作、露地野菜、  
果樹、施設園芸、花き、茶、畜産 等

- ・技術の概要や技術導入の**効果**
- ・みどりの食料システム戦略における**貢献分野**

(温室効果ガス削減、化学農薬・肥料削減等)

- ・導入の**留意点**
- ・その他 (価格帯、適応地域等)
- ・技術の**問い合わせ先**



みどりカタログ 検索

2030年までに利用可能な技術のうち3件が現在普及可能な技術に！

### 「みどりの食料システム戦略」 技術カタログ

(Ver.6.0)

～現在普及可能な新技術～

令和8年4月  
農林水産省

#### 有機質資材の肥効見える化アプリ (畑・水田版)

問い合わせ先：農研機構本部  
TEL：029-030-0000 e-mail：naroMea01@mri.affrc.go.jp

公開/市販化

生産 品目：水稲、畑作物、野菜類

##### 技術の概要

簡単な入力作業により、畜ふん堆肥等の有機質資材の窒素・リン酸・カリの肥効（減肥可能量）を予測し、見える化するアプリ（畑・水田版）を開発した。有機質資材は、有機・減肥数値において養分供給源として重要である一方、肥効の見積もりが難しいことが課題である。本アプリでは、窒素肥効については、資材特性値や地温などの環境データを用いて予測し、リン酸・カリ肥効については地域別の肥効率などを用いて予測する。これにより有機質資材を使った施肥管理をスマート化する。



##### 効果

- 誰でも簡単に見える化**  
パソコンやスマホでアクセスし、資材の種類や施用時期などを数項目入力（所用時間数分）するだけで、肥効を予測できる。
- 多様な作型に対応した予測**  
地温が異なる夏作、冬作など野菜類の多様な作型に対応できる。肥効の予測には農研機構日本土壌インベントリーの地温データを使っている。
- 多様な有機質資材に対応**  
例：牛ふん堆肥、豚ふん堆肥、鶏ふん堆肥、糞物濾かす、魚かす、米ぬか、緑肥など。

##### ●アクセスと操作

アプリのURL：  
[https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/main/non\\_paddy](https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/main/non_paddy)

アプリへのQRコード



##### 導入の留意点

- ・**予測精度に留意あり**  
将来の気象条件の予測には限界があるため、予測値と実測値の差にかい離が生じる可能性がある。

##### その他 (価格帯、改良・普及状況、適応地域)

- 価格帯  
上記アプリの利用は無料。モデルやAPIの高業利用、特定資材用の高精度アプリは有料
- 適応地域  
日本全国

##### 関連情報

●農研機構プレスリリース。2025年6月4日  
[https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/pre-ss/laboratory/karc/169314.html](https://www.naro.go.jp/publicity_report/pre-ss/laboratory/karc/169314.html)

